

総務教育常任委員会資料

(平成26年3月4日)

【 件 名 】

- | | | |
|---|--|---|
| 1 | 文化財の県指定について（文化財課） | 1 |
| 2 | 第69回国民体育大会冬季大会スキー競技会の結果について
（スポーツ健康教育課） | 4 |

教 育 委 員 会

文化財の県指定について

平成26年3月4日
文化財課

平成26年2月18日に開催された鳥取県文化財保護審議会において、下記の文化財を鳥取県保護文化財の指定について鳥取県教育委員会に答申することが決定されました。

記

【指定】鳥取県保護文化財

名称	所在地	指定基準
けんぼんちやくしよくあみださんぞんらいごうず 絹本着色阿弥陀三尊来迎図	鳥取市	絵画、彫刻の部 (2) 我が県の絵画・彫刻史上特に意義のある資料となるもの

<指定理由>

本図は、絹本に立ち姿の阿弥陀、画面左側に合掌する勢至菩薩（せいしぼさつ）、往生者を乗せるための蓮台を掲げた観音菩薩（かんのんぼさつ）の三尊だけを描く。

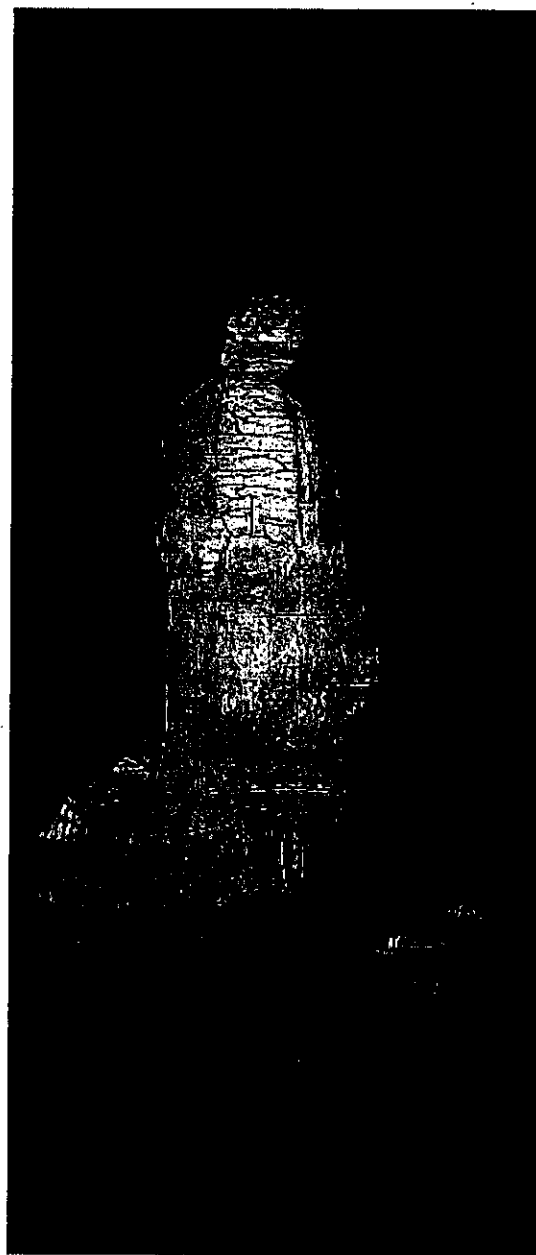
三尊はそれぞれ来迎雲（らいごううん）の上に緑色の踏み割り蓮台にのって、斜めを向く。

三尊の体は金泥（きんでい）で塗られ、衣には金泥で卍つなぎや麻葉文などの文様が繊細に描き加えられている。三尊の頭光、阿弥陀から発する光明、蓮台の蓮の花びらの筋などには、細く切った金箔が貼り付けられている。頭光の輪郭をかたどる細い線状の金箔（截金）には、朱線に沿わせ、その内側を雲母でぼかして、淡い輝きを表現する。頭髪は群青で髪が生え際は弧を連ねたものとなっている。鼻梁は赤茶色の線でひきおろされ、目は横に長く、まぶたがゆるやかに波打つ。来迎雲は白色であり、銀泥の使用は目視では確認できない。雲の尾が二股に分かれて揺曳する。

顎の張りが弱い細面の顔の形や、二菩薩のかぶる冠の繊細な装飾、長く尾をひく来迎雲の表現などには硬さがなく、形式的になりきっていない点が注目される。制作時期は14世紀後半（南北朝時代）に遡ると推測する。

鳥取市内の旧家の所蔵品であり、その家に代々伝来し盆の期間にだけ懸用されてきたものである。明治20年代に、画面の損傷の激しい部分を切り詰めるなどの修理が行われたと想定される。修理後の表装の状態は安定しており、そのときに作られたと思われる箱や鑑定書も、本作例の歴史を伝える資料として貴重と考える。

以上、本図は、鳥取県下にはまれな、14世紀後半にさかのぼる作例である。そして、県下の旧家で守り伝えられてきたことがわかる点でも、鳥取県の指定文化財とするにふさわしい一点と考える。



絹本着色阿弥陀三尊来迎図

【指定】鳥取県保護文化財

名称	所在地	指定基準
じょうふくじきょうぞう さんもん 常福寺経蔵及び山門	日南町	建造物の部 (3) 歴史的価値の高いもの

＜指定理由＞

常福寺は日野郡日南町の西部、多里宿の南端に位置する曹洞宗寺院で、山号を中宝山と号する。近世を通じて、郡西部における曹洞宗の中心的役割を果たした。

多里は伯耆国と備後・備中・出雲の各国を結んだ分岐点にあたり、17世紀中頃から宿場町として栄え、市も開かれていた。多里の集落は南北に流れる日野川と並行した街道に沿って展開し、常福寺の境内はその街道筋の南端に位置する低い山裾に広がる。

常福寺は永禄2年(1559)、備後国徳雲寺の5世木中圭抱(?～永禄12・1569)を開山として亀尾山城主・宮盛佑が創建し、その後火災にあったが、17世紀後半に宮氏の家臣である増原家が再興したという。

経蔵には「貫花蔵(かんげぞう)」の扁額(へんがく)が掲げられ、棟札により常福寺10世台翁和尚が、日野郡の大庄屋・古都源八の外護を得て、郡内や出雲横田等周辺地域から浄財を募り、元文元年(1736)に宇治萬福寺から購入した鉄眼版一切経(てつげんばんいっさいきょう)を納めるため、寛保3年(1743)備前大工・戸川半兵衛によって建てられたことがわかる。

経蔵は、花崗岩の切石二段積みの基礎の上に建てた約5.2メートル四方の土蔵造で、白漆喰塗の壁に、腰に六角形の平瓦を張った海鼠壁とする。屋根は頂部に露盤、宝珠を据えた宝形造唐破風向拝付で、元々はこけら葺きであったものが、昭和48年の修理の際に銅板で仮葺きされた。内部は間仕切りのない畳敷きの一室とし、上部に彩色を施した須弥壇の両側には、元文元年、寛保3年の棟札をかける。天井は格天井とし、数千点にわたる鉄眼版一切経が納められた引出棚が両側面に造り付けられている。

境内入口となる石段の上に建つ山門は、勅使門であったと伝わるものである。正面には山号「中宝山」の扁額が掲げられる。建築年代は不明であるが、彫刻の様式から18世紀前期の建築であると考えられる。

常福寺経蔵は由緒も明らかで、経蔵内に残る一切経とともに当初の形態を良く伝えており、県内に経蔵の類例が少ないことから貴重である。また、山門は経蔵とあわせて境内の景観を形成する上で重要である。



経蔵外観



山門

参考：鳥取県の国・県指定文化財の件数

() は今回の新規指定決定件数であり外数

県内	県指定文化財		国指定文化財	
		255 (2)	119	
	保護文化財	123	国宝・重要文化財	56
	絵画	18 (1)	絵画	3
	古文書	4	古文書	0
	彫刻	41	彫刻	18
	工芸品	14	工芸品	5
	書跡	0	書跡	1
	考古資料	19	考古資料	11
	歴史資料	2	歴史資料	0
	建造物	20 (1)	建造物	18
	工芸・考古資料	4	工芸・考古資料	0
	彫刻・建造物	1	彫刻・建造物	0
	史跡	19	特別史跡・史跡	31
	名勝	7	名勝	4
	名勝・史跡	0	名勝・史跡	1
	名勝・天然記念物	0	名勝・天然記念物	1
	天然記念物	54	特別天然記念物・天然記念物	19
	有形民俗文化財	3	重要有形民俗文化財	1
	無形民俗文化財	41	重要無形民俗文化財	3
	無形文化財保持者・団体	7	重要無形文化財保持者・団体	1
	伝統的建造物群保存地区	1	重要伝統的建造物群保存地区	2
	県選択	2	国選択	9
	記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財	2	記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財	9

【国・県指定件数（絵画、年代別）】

	平安時代	鎌倉時代	南北朝時代	室町時代	江戸時代
国	1 (国宝)	2			
県		3	1		15

第69回国民体育大会冬季大会スキー競技会の結果について

平成26年3月4日

スポーツ健康教育課

1 スキー競技会の概要

会 期 平成26年2月21日（金）～24日（月）

場 所 山形県山形市、上山市

派遣人数 44名（本部役員10名・監督2名・トレーナー2名・選手30名）

2 入賞者

大藤 翔太（スキー競技 ジャイアントスラローム 成年男子A 第2位）

○アルペン競技としては、13年ぶりの表彰台。男子としての表彰台は、39年ぶりの快挙。

○冬季大会としては、平成23年度クロスカントリーの8位入賞以来、2年ぶりの入賞

3 競技成績（別紙成績一覧参照）

4 冬季大会終了時点での総合成績

天皇杯順位 31位 得点 37点

皇后杯順位 26位 得点 20点

区 分	男 女 総 合 成 績				女 子 総 合 成 績			
	得 点			順 位	得 点			順 位
	参加得点	競技得点	合計得点		参加得点	競技得点	合計得点	
スケート	10 (10)	0 (0)	10 (10)	27位 (30位)	10 (10)	0 (0)	10 (10)	22位 (21位)
アイス ホッケー	10 (10)	0 (0)	10 (10)	12位 (12位)	/			
スキー	10 (10)	7 (0)	17 (10)	17位 (23位)	10 (10)	0 (0)	10 (10)	18位 (17位)
合 計	30 (30)	7 (0)	37 (30)	31位 (34位)	20 (20)	0 (0)	20 (20)	26位 (26位)

※（ ）内の数字は、昨年度の状況。

5 第69回冬季国体知事表彰について

(1) 期 日 平成26年3月中旬（調整中）

(2) 場 所 未定（調整中）

(3) 表彰の対象 第69回国民体育大会の正式競技の種別または種目において、8位までに入賞した個人及び団体競技の選手

(4) 被表彰者 大藤 翔太（おおふじ しょうた）

スキー競技 ジャイアントスラローム 成年男子A 第2位

(5) 表 彰 入賞者には表彰状の授与と記念品の贈呈

(6) その他 入賞種目の監督 森岡靖彦（もりおかやすひこ）氏には感謝状の授与と記念品の贈呈を行う

第69回国民体育大会冬季大会スキー競技会
鳥取県選手団成績一覧

2014年2月24日現在

競技・種目	種別	エントリー数	出走順	氏名	順位	記録	競技得点		
ス キ	ジャイアント スラローム	成年男子A	25	大藤 翔太	2	1分08秒32	7		
			67	青砥 童心	38	1分12秒22			
			96	小谷 峻慈	60	1分16秒20			
		成年男子B	98	糸乗 克	13	1分11秒95	7		
			成年女子A	90	62	下村 彩恵		33	1分13秒98
				88	濱田 空	64		1分21秒67	
	90	堤 晴彩		45	1分16秒05				
	少年男子	189	33	川戸 将稔	61	54秒32	7		
			62	久保竜ノ輔	59	54秒28			
			82	金釘 千夏	DNF				
			131	植村 景太	97	56秒39			
			156	小谷 凌希	DNF				
	少年女子	120	173	天根 誓哉	153	1分02秒05	0		
			59	中林 彩	DNF				
			91	瀬戸 葵	63	55秒87			
			116	福井 理恵	75	57秒52			
	クロス カントリー	成年男子A	83	119	宇田川真優	93	1分00秒79	0	
				5	木村 広輝	65	32分31秒1		
				29	松本 真志	70	33分28秒0		
成年男子B		40	59	渡部 和生	54	30分29秒4			
			16	川端 大介	27	32分05秒4			
成年男子C		48	33	加藤 郁海	21	31分12秒6			
			42	岩波 昭宏	18	15分22秒8			
成年女子B		19	13	山形 陽子	12	17分54秒0			
少年男子		136	26	田辺 真矢	120	36分45秒2			
			6	川上 光隆	131	39分00秒9			
少年女子		75	4	田邊 悠梨	62	22分04秒9			
			19	浅田 彩絵	53	20分19秒4			
			38	遠藤 花奈	52	20分19秒0			
			63	佐伯 美幸	39	18分20秒0			
成年男子 リレー	24	1走	渡部 和生	23	20	28分25秒7	1時間53分40秒9		
		2走	加藤 郁海	19		26分56秒8			
		3走	川端 大介	19		28分34秒6			
		4走	岩波 昭宏	17		29分43秒8			
女子リレー	16	1走	佐伯 美幸	11	12	16分30秒2	1時間08分07秒7		
		2走	遠藤 花奈	14		17分38秒6			
		3走	山形 陽子	12		15分42秒5			
		4走	浅田 彩絵	14		18分16秒4			
合			計			7			